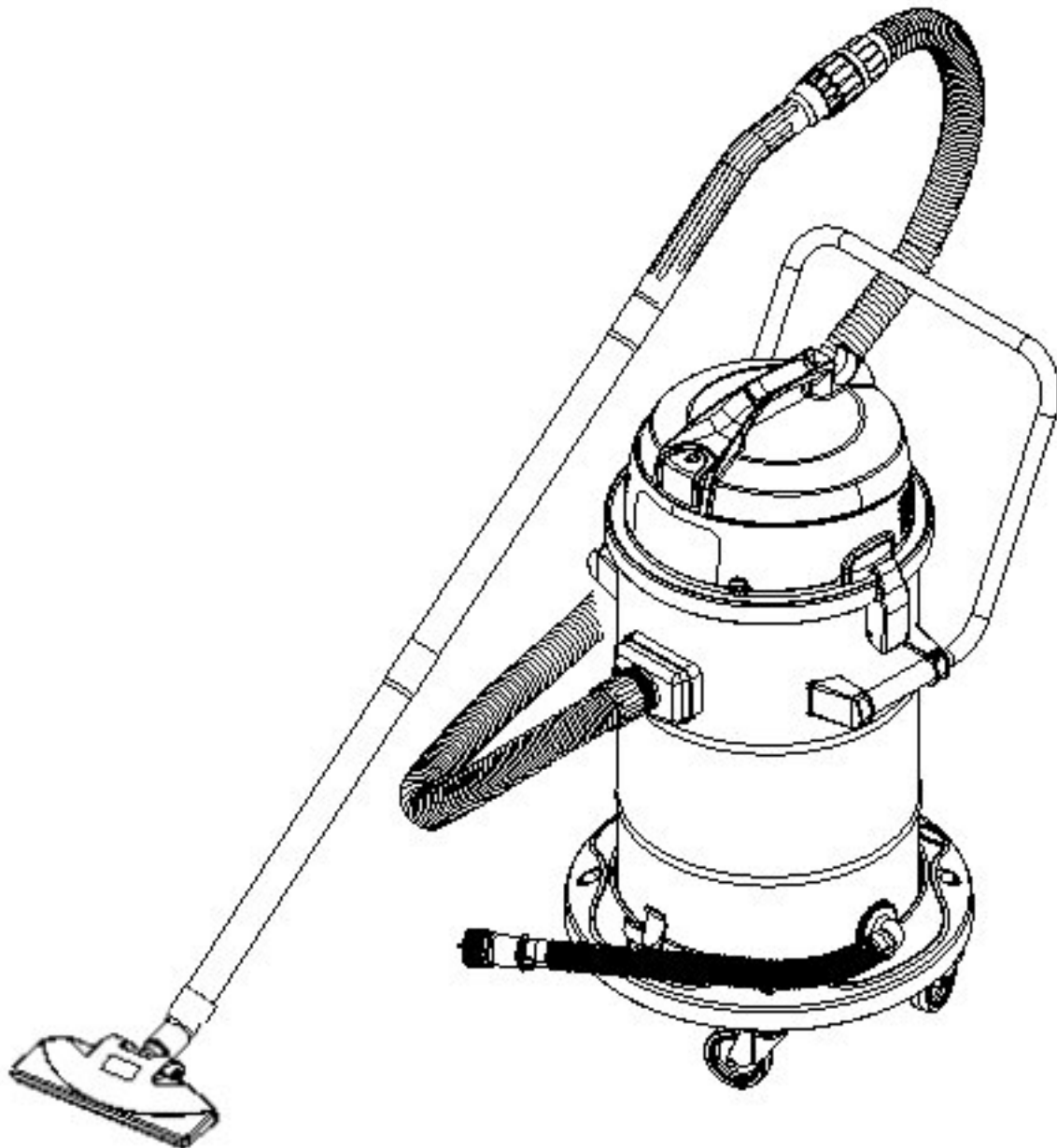


取扱説明書

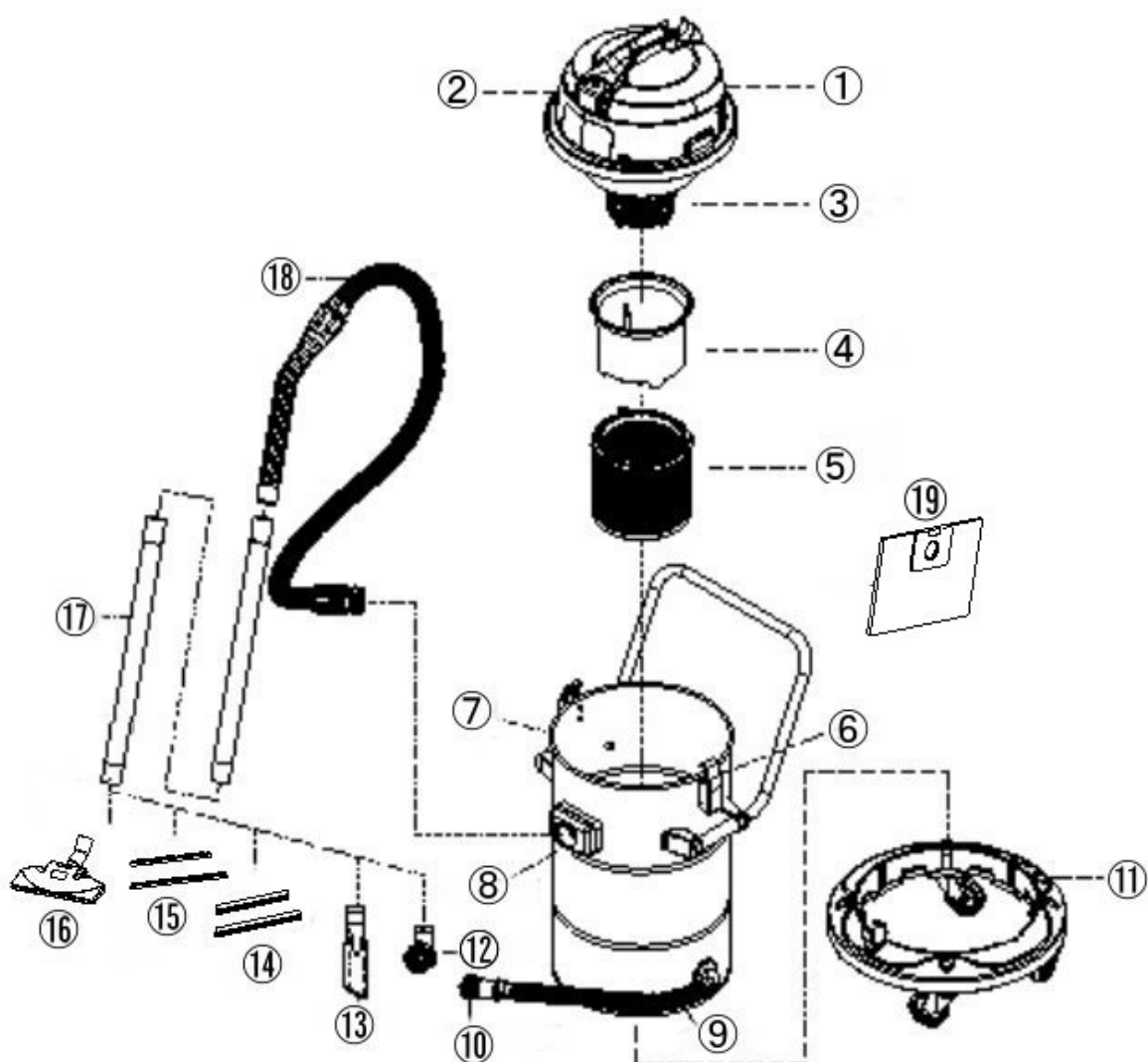
WET&DRY VACUUM CLEANER WITH DRAIN HOSE ASS'Y

MODEL: EA899TD-40C

“ご使用前に必ずお読みいただき、お手元で大切に保管してください。”



各部名称



1	ヘッド	8	吸い込み口	15	ドライブラシ
2	電源スイッチ	9	排水ホース	16	ノズル本体
3	フレーム	10	排水ホースキャップ	17	延長パイプ
4	シリンダー	11	キャスターベース	18	ホース
5	フィルターカートリッジ	12	丸ブラシ	19	フリーズバッグ
6	留め具	13	ツル口ノズル		
7	ステンレスタンク	14	ウェットラバー		

用途

本体内に高性能ウェット/ドライ両用モーターが1個組みつけられています。吸引力が高く音が静かなため店舗、空港、展示ホール、コンファレンスルームやその他公共施設など幅広く使用していただけます。

仕様

機種名	EA899TD-40C
電圧	100V
消費電力	1100W (50/60Hz)
タンク容量	40L

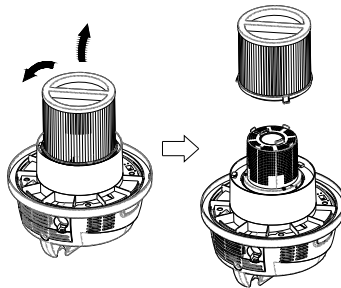
注意

- ①仕様の項目で指定されている電源電圧以外では使用しないでください。
- ②濡れた手や身体で本機の操作や電源への接続を行わないでください。
- ③ストーブやバーベキュー等の掃除をする時は、消火が完全であることを必ず確認して下さい。(熱い灰は吸わないで下さい。)
- ④故障の際は、必ず修理に出して下さい。ご自分で分解しないで下さい。
- ⑤引火性のものや、消火が完全でなく熱をもった燃えかすやタバコの吸いながら、また刃物(カミソリの刃、カッターの刃など)や針のような鋭利なものは危険ですので、吸わないで下さい。
- ⑥火の近くや高温の場所では使用しないで下さい。モーター内に水が入らないようご注意下さい。絶対に雨ざらしにしないで下さい
- ⑦ホース類、本体の手入れは水または中性洗剤を含ませた布で行って下さい。ベンシン、シンナー類は吸わないで下さい。
- ⑧当商品には温度上昇保護装置が付いております。温度が上昇した際、自動的に電源が切れモーターが止まります。万一、温度上昇保護装置が作動した際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。数分間運転を止め、点検後、異常が見当たらなければ再び電源プラグを差しご使用下さい。

フィルターカートリッジの取り外す方法

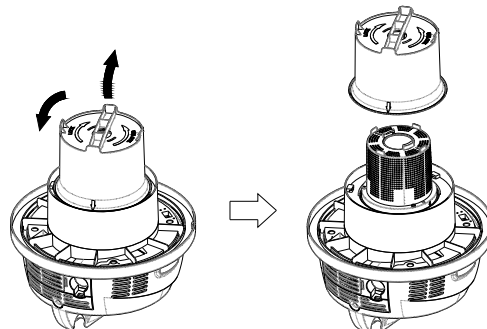
水や他の液体を吸引する時に、フィルターカートリッジを使用しないでください。

まずヘッドを逆に置いてから、フィルターカートリッジを逆時計に回転して、フィルターカートリッジを取外します。

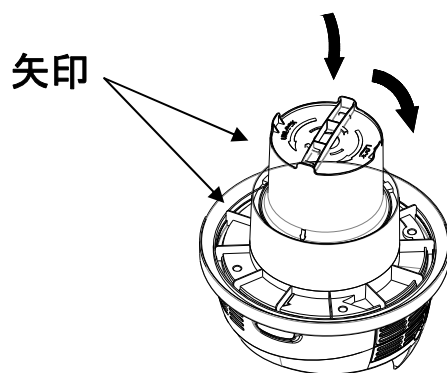


シリンダーの取外す方法

まずヘッドを逆に置いてから、シリンダーを逆時計回りに回転して、シリンダーを取外します。

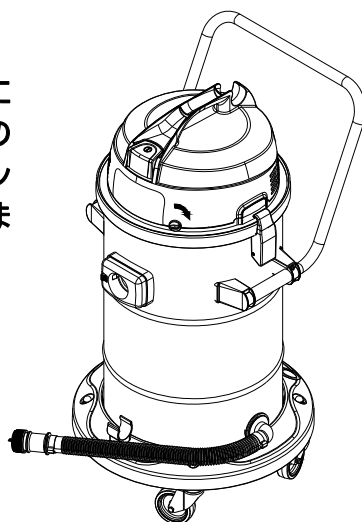


取り付け: シリンダーとモーターベースとの矢印をお互いに合わせてから、シリンダーをかけて、時計回りに回転します。

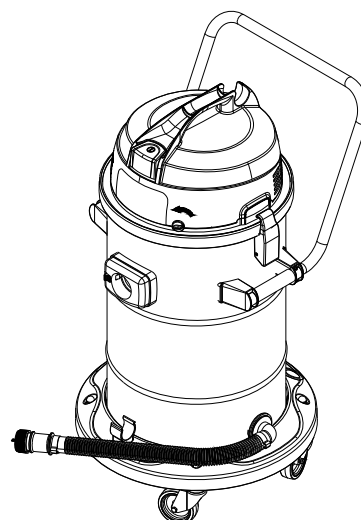


吸引力調整使用方法について説明

吸引力を強く
すれば、ヘッドの
風量調整ボタン
を右へ回転しま
す。



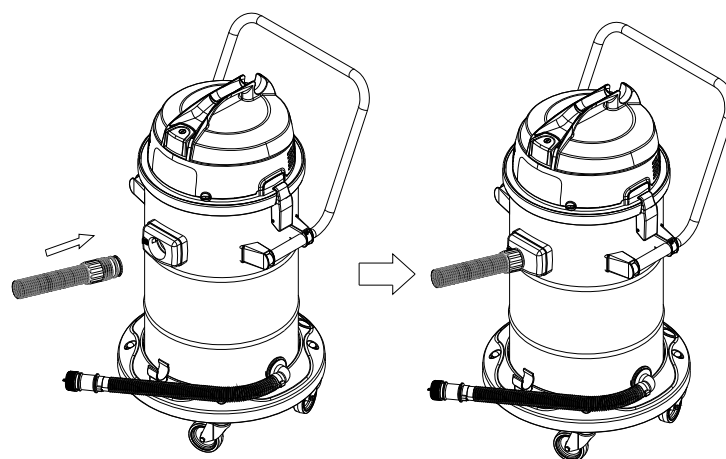
吸引力を弱く
すれば、ヘッドの
風量調整ボタン
を左へ回転しま
す。



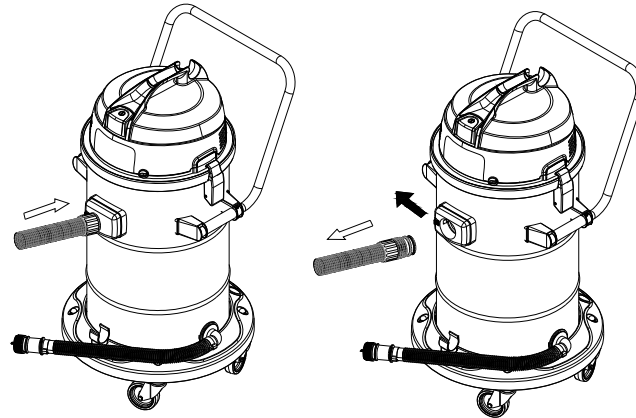
付属品の使用方法についての説明

ホースの取付け方

ホースの取付け部を本体の吸込み口に差し込んでください。ホースと吸込口には、ロックがついているので、差し込んだ途端、ロックした音がするはずです。

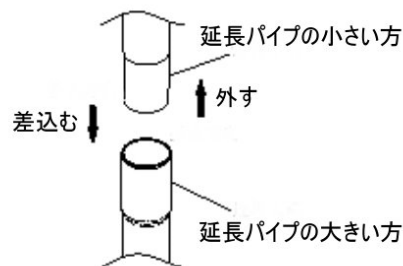


ホースを抜く時、差し込口の横のボタンを左に押し、そのままホースを取り外します。



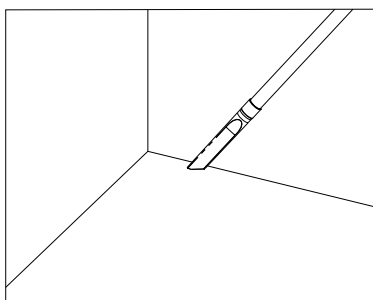
パイプの接続方法

延長管の小さい方の先端をもう一方の延長管の大きい方の先端に差し込みます



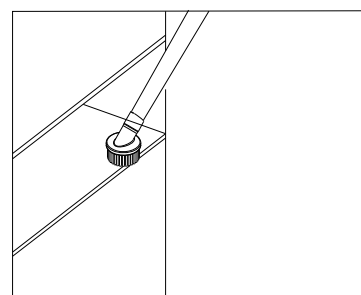
ツル口ノズルの用途

窓の隙間や狭いエリアに使用します



丸ブラシの用途

テーブルの上、敷居、カーテンやエアコンのブラケット使用します



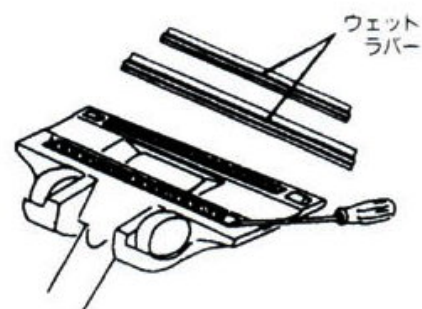
ノズル本体とドライブラシ、ウェットラバーの接続方法

ノズル本体についている長短2列の溝に、それぞれブラシラバーを差込んでください。はずす時は、マイナスドライバ等を溝に入れて取り出してください。

じゅうたん: ノズル本体のみ、又はドライブラシ長1本

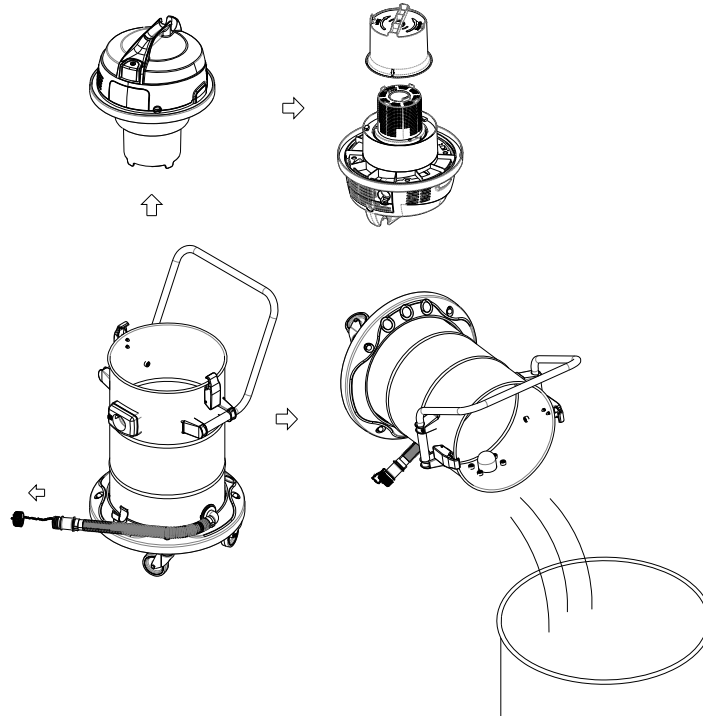
乾いた床: ノズル本体+ドライブラシ2本

湿れた床: ノズル本体+ウェットラバー2本

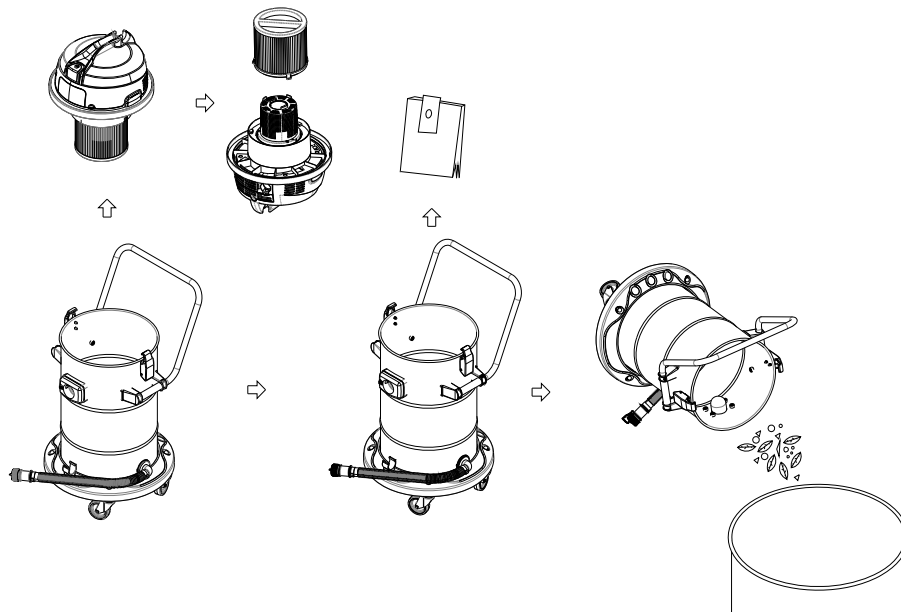


清掃・点検

吸水する時 ヘッド、シリンダーの順に本体から外します。排水ホースのキャップを開けて、排水してから、タンク内のゴミを捨てます。

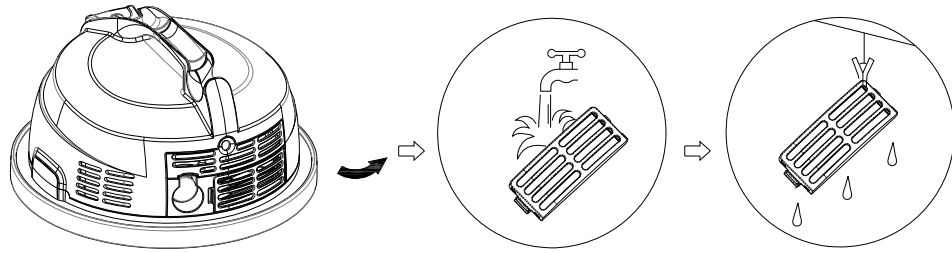


ドライする時 フリーズバッグを使用したら、ゴミが満載になった時に、ヘッドを本体から取外して、請取下タンク内のフリーズバッグを捨てます。フリーズバッグを使用しない場合は、ゴミはタンク内に吸込まれていますので、タンク内のゴミが満載になってから、ヘッドを取外して、タンク内のゴミを捨てます。



排気スポンジのクリーン

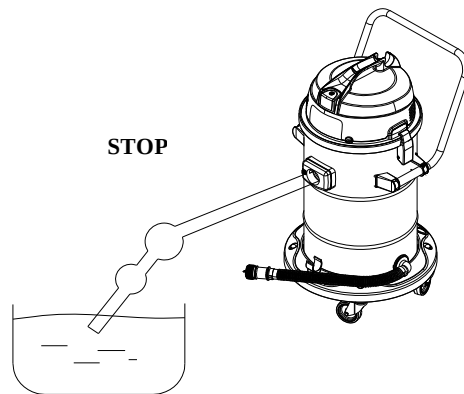
長く使用すると、排気スポンジにちりや他の微ほこりなどを積んで、排気ロードが目詰まりますので、排気フレームの固定具を押して、排気フレームを取外して、中のスポンジを水洗いをして、乾燥させてください。



水位コントロール及び安全装置

水を吸引すぎると、水位コントロール用フロートが作動します。その際は、本機は普通より鈍い音があります。本機は作動していますが、長時間に異常作動すると、機械に壊れてしまう可能性があります。電源を切り、タンク内の水を捨ててください。再度電源を入ると、正常になります。

注意: 大量に吸水作業をする時、フィルターカートリッジが変形なくて、湿気らないように、先にをフィルターカートリッジ取外してください。



吸引力が弱くなる時や吸引できない時

- ① 吸引力が弱くなる時や吸引できない時に、すぐ止めてください。
- ② ノズル、ホース、延長パイプをチェックして、内部にゴミが詰まっていないかを確認します。ゴミを取り除いてください。
- ③ フィルターカートリッジをチェックして、軽くたたいてちり落としをしてください。目詰まりがある場合、水洗いして、完全に乾燥させてください。

